

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備	10-2
運転をする前に	10-2
雪道，凍結路の走行	10-3
寒冷地での駐車	10-4
タイヤチェーン	10-4

冬期前の点検と準備

J01300102304

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。

→「オイル類の量と種類」P.12-3

冷却水

冷却水の凍結を防ぐため外気温に適した不凍液濃度にします。

→「冷却水の量と種類」P.12-4

不凍液濃度	凍結保証温度
30%	約 -15℃
50%	約 -35℃

アドバイス

- 冷却水を交換するときは、販売会社にご相談ください。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（純正品）の濃度を 50% 以上にします。

10-2 寒冷時の取り扱い

→「ウォッシャー液の点検・補給」P.9-5

バッテリー

液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電します。詳しくは、「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン、または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

→「タイヤチェーン」P.10-4

冬用タイヤに取り替えるときは、4 輪とも交換します。

→「タイヤ交換のしかた」P.11-22

ワイパー

寒冷地用ワイパーに交換するときは、車にあったものをおすすめします。詳しくは販売会社へご相談ください。

運転をする前に

J01300901031

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。

→「ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは」P.7-7, 7-15

また、ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に部品を損傷したり、ハンドルの切れが悪くなるおそれがあります。

注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して氷塊を取り除いてください。

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり、き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。



アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや、ウインドウガラスの曇りを防止するため、靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル、ハンドル、ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。

- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。
走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで、効き具合を確認してください。

雪道、凍結路の走行

J01300300689

暖機運転について

長すぎる暖機運転は、燃料の無駄使いにつながります。環境保護のためにも暖機運転は1分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにしてください。
- 橋の上、日陰、水たまり、トンネルの出入口付近などは路面が凍結しやすいので、注意してください。

車間距離は十分に

雪道、凍結路は滑りやすいため、ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し、ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠ 注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

寒冷地での駐車

J01300401616

パーキングブレーキが凍結するおそれがあります。パーキングブレーキはかけず、セクターレバーをPに入れさらに輪止めをしてください。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと、エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば、ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300702153

タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。

注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けしないでください。

また、必ず純正品をご使用ください。サイズが不適合なものを取り付けると、ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは販売会社にご相談ください。

取り付け要領は、タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

注意

- パンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしてからタイヤチェーンを装着してください。
→「タイヤパンク応急修理キット」P.11-17
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは、交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。
また、非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは30 km / h 以下で走行してください。
- 雪道、凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので、避けてください。